

名 称	第5回鹿沼市総合計画審議会議事録
日 時	平成28年6月24日（金） 13:30～15:00
場 所	鹿沼市民情報センター 子育て情報室
出 席 者	別紙のとおり
内容及び 結果等	<p>（進行：袖山課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会長あいさつ ○ 市長あいさつ ○ 新任者紹介（新委員紹介後、市出席職員の紹介） ○ 職員紹介（名簿順に袖山課長から市側出席職員を紹介。） ○ 議 事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 「第6次鹿沼市総合計画の実績評価」について・・・・・・資料① (2) 「鹿沼市総合戦略の27年度の実績」について・・・・・・資料② (3) 「地方創生先行型事業の評価」について・・・・・・資料③ (4) 「第7次鹿沼市総合計画」について <ul style="list-style-type: none"> ①「第7次鹿沼市総合計画策定スケジュール・概要」について・・資料④ ②「地域別懇談会・市民団体意見」について・・・・・・資料⑤ <p>◇グループワーク <テーマ>(1)～(4)の内容について討議(約40分)</p> <p>【1 第6次鹿沼市総合計画の実績評価】</p> <p>基本目標1関係</p> <p><資料についてのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(資料1の構成について)実績だけで、その効果が見えない。例えば、海外交流事業は、本当に子どもたちのためになっているのか見えない。 ・(資料1の構成について)アウトプットしか見えない。アウトカムの記述があるとよい。 ・課題認識を持つことが必要。 ・メリハリをつけた計画づくりが必要。 ・市の総合計画が、“市役所”の総合計画になっているように見える。 <p><スポーツ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ交流（順천시への派遣事業等）に市の産業を絡めてビジネス的な交流ができればよい。 ・黒川河川敷グラウンドを教育施設にできないか（教育施設になれば復旧も早期にできるのでは）。 ・地域のスポーツ活動と学校のスポーツ活動の連携を図ったほうが良い。 <p><組織等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と教育委員会が一体となって事業を実施すべき。 ・教員OBの活用を検討すべき <p style="text-align: center;"><裏面へ続<</p>

内容及び
結果等

<地域との関わり>

- ・地域の教育力が必要。地域での活動が草むしりなどだけになっていないか。子ども貧困問題の解決などのためにも、学校評議員に自治会をもっと絡められるとよい。
- ・地域で学童保育の存在を知られていない。地域の人材を活用したに子育てが必要。
- ・「まるごと博物館」は地域を巻き込んで推進してほしい。

<個別施策>

- ・人口減少時代に適した教育が必要。学校の適正配置だけでなく、一校一校の「特色ある学校づくり」があるとよかった。
- ・外国語教育の効果測定（英検何級など）が必要。
- ・学校教育環境の格差が気になる。トイレ様式化やエアコン設置など学校によってかなり差がある。
- ・家庭教育学級の運営が教師、保護者とも人員不足で運営がままならない現実を受け止めてほしい。事業に参加する余裕がない。

基本目標2

<医療・健康>

- ・特定健診、メタボ検診の受診率が伸びていない。体重増や運動不足がみられる。メタボ撲滅に繋がっていない
- ・脳卒中等の血管系の疾患は全国と比べても高い。改善はしているが、徹底して対策をとる必要がある
- ・休日夜間急患診療所が新しくなり、アクセスも良くなった。上都賀病院も建て替えし、連携もよくなってきた。
- ・認知症対策は課題が多い。
- ・感染症予防対策で、インフルの補助が少ない。13歳以下は1シーズン2回の接種が必要。

<地域安全>

- ・自転車交通安全対策で、東高生のマナーが悪い。
- ・防犯カメラ、幼稚園等にも設置する補助はないか。

<保健福祉>

- ・発達障害等、保護者に理解してもらうのが難しい。
- ・歯、口腔について、虫歯が多い子とそうでない子の差が極端。巡回診療等できないか。
- ・あおば園が満員。第2あおば園を検討してはどうか。
- ・ほっとサロンで老人クラブが活動できないか（今は別々になっている）。クラブ会員増加にもつながる。

<裏面へ続く>

- ・老人クラブとして、経験を生かし、できる範囲で介護予防、生活支援に取り組む意思がある。
- ・7地区しか移送サービスをしていない。未実施地区の希望も聞いて、実施してはどうか。
- ・民生委員がみまもり隊を兼務している地区がある。できるだけ多くの目で見守るようにしてほしい。

<防災・消防>

- ・災害情報をろう者にも伝わりやすくしてほしい。CATVの字幕やメールを使えない人にも知らせる手段が必要。
- ・防災マップの活用状況はどうなのか。マップに記載されていない危険箇所もある。消防団員から市に情報提供することもできる。
- ・避難所に何人避難しているかなどの情報を、消防団員にも周知してほしい。
- ・9月の水害を受け、救命ボートとチェーンソーを配備した（チェーンソーは雪害で倒れた木を切るのに使える）

基本目標3

<林業>

- ・森林認証取得…認証取得により、川上から川下までの業者が一体となり、需要の改善を図る。山林所有者、共販所は売り込みを強化し、鹿沼産材の価値を高める。
- ・林道の復旧…災害による復旧工事は全体の30%程度の進捗となっている。鹿沼産材の供給を高める為に100%復旧を目指したい。予算の要望をいたします。
- ・森林経営計画…更なる計画の拡大を図ります。

<雇用>

- ・雇用関係機関との連携…様々な機関との連携を相当数図っており、今後も引き続き密な連携を図ってほしい。
- ・就業機会の拡大支援…今までの実績に加え、もう一步踏み込んだ支援として、市内企業の採用情報を随時配信したり、県外の大学等に在籍している学生等へ鹿沼市内の企業の情報発信を行えるとより良いのではないかと。
- ・企業支援をして、男性でも育休がとりやすい環境にしてほしい。

<産業>

- ・市内商工業者にとっては、新製品の開発とそれに伴う販路の開拓は、永遠のテーマではあるが、展示会への出展なども含めて、手厚いサポートの継続を願いたい。

<裏面へ続<>

- ・17-1、18-6 農林商工の連携と6次産業の推進…新商品開発は必要だが、県整備は比較的小規模の農家が多く、安定した量の確保が課題。新商品の販路開拓の支援強化が必要。
- ・19-2 鹿沼産材の利用促進…森林認証取得による環境への取り組みと、ブランド化は有効なアピールポイントであるが、価格競争力をつける支援が必要と考える。
- ・20-1 新たな交流を育む商業の振興…事業者への支援に加えて、買い物をする方への支援策を強化してはどうか。子育てをしている層向けとして、買い物中一時保育預かりサービス、高齢者向けに自宅までの宅配サービスなど。
- ・21-1 新製品・新技術支援…既存の事業や商品(製品)に加えて、第二創業や付加価値を高める開発をするため、大学等と連携しコーディネータ派遣を支援してはどうか。
- ・21-2 事業転換や新分野進出支援…NPO 法人を活用した新現役によるマッチングを定期的に行い、進出する事業者へのアドバイス、販路開拓を支援してはどうか。

<農業>

- ・農協では「創造的自己改革への挑戦」3か年計画を立てた。具体的には、「農業生産の拡大」「農業所得の増大」「くらしの活動の充実」などを掲げている。
- ・農業、農家がこれまで果たしている役割を振り返れば、産業の一分野だけではないはず。農業、農家の荒廃は国家の負の課題である。ぜひ、鹿沼市の特性を生かした農家の意欲を提起する政策を導いていただきたい。

基本目標4, 5

- ・総合計画は、事業毎にきめ細かく実行されている
- ・計画毎に目標値があり、実績・成果がどうだったか検証し、次期計画に反映させてほしい
- ・5年間のこれだけの実績を、各市民が確認できていないと思われ、何らかの形でこれまで以上に周知させ、次期計画に関心を持ってもらい、反映させてほしい。
- ・土採取条例…良質な園芸用土の産地を守る取組として評価
- ・2大祭りPR…那須烏山市との連携など、ユニークな取組を評価
- ・基本計画と実施計画の策定…総合戦略との並行作業に敬意。総合計画の骨子となるものを期待
- ・祭り、イベントの開催支援…実績にある通り、旧態依然としたイベントとあるが、1日だけの「やりました」という内容で次につながらないものもある
- ・前日光…継続・縮小ではなく、引き続き力を入れるべき。市内で魅力ある入-入。

<裏面へ続く>

【2 総合戦略への意見】

基本目標1グループ

(1) 全般

- 初年度の達成状況はあまり意味がないので、目標達成のために何を実行したかを示してほしい。
- 市の将来になりたい姿というよりも、数値化しやすいものだけを目標（KPI）として設定していないか。
- 五年間で目標を達成できるのか。

(2) 個別施策

- 秋祭りは中心市街地だけでなく、市全体の祭りとして、市内全校の児童生徒が関係できるようにしたほうがよい。
- 企業誘致には広報活動の強化が必要。
- 鹿沼の大企業、市役所、職員数の増加が必要。
- 花木センターの在り方の見直しが必要。

基本目標2グループ

- 質の評価もあると良い。質を深めていくような取り組みを。
- 待機児童の定義が知りたい。
- 郷土愛教育の数値が無いがよいのか。
- 65歳以上の障がい者の雇用拡大が必要。
- 南押原児童館跡地の活用、市で補助等してもらえないか。
- 自主防災会は徐々に増えているようだが、まだ未設置の自治会もある。

基本目標3グループ

- 新産業団地の造成は、一日も早く進展することを望むとともに、さつきロードと流通センターを結ぶ新たな道路の建設を早急に手掛けてほしい。
- 柱1は、人口減少を食い止めるためには、最も重要な施策と考える。産業の振興策に働く側の目線の施策が不足していると思う。子育てする、している層の働きやすく、その世帯の労働による所得増加につながる施策が必要ではないか。
- 柱2は、鹿沼の地域資源活用による交流人口の増加を図る施策であり、①そばの街、②花木センターの活用、③屋台展示の活用、④鹿沼ブランドの活用、⑤魅力あるふるさと納税HPの改善がポイントになる施策ではないか。

<裏面へ続く>

基本目標4, 5グループ

- 新製品・新商品等の試作品開発数…H27年度〇は寂しい限り。
- 公共交通機関利用者数…20%増は市民の意識変化、抜本的取組がないと厳しい評価指標
- 達成状況の実績数値だけの記載で1年間の活動を評価できるのか。目標と実績との差異要因など検証し、28年度の活動を更に明確にして実行してほしい。
- PDCAのための目標地については、年度毎もしくは中間値の設定があるとよい。
- 移住定住の促進は、成果が出ているが今後どうマネジメントするかが重要

【3 第7次への提案】

基本目標1グループ

(1) 全般

- 6次までの課題を明確にし、それを解決するための7次にするべきである。
- 市役所がやるべきことだけが書かれた計画になっていないか。民間や市民など実行者をもっと広げて計画を策定できないか。

(2) 人を育む

- 「カヌマ大学」での意見は、教師の自助努力で解決できるものもあるので、参考にしたい。
- 教育は学校だけでできるものではないので、家庭教育の充実を求める。
- 子育てだけでなく、親育ても必要。家庭教育の重要性を親が認識するような場を設けたほうがよい。

(3) 人が活きる

- 他の都市ともっと交流して鹿沼の認知度を上げる必要がある。
- 山の在り方について、7合目上は雑木にすることで鉄砲水や獣害対策になるという取組がある（矢板市？）ので、そういった先進事例を参考に林業を推進してほしい。
- 企業誘致では、鹿沼はBCPの観点で優位だということもPRの一助になるのではないか。
- サイクリングロードの整備（鹿沼一周、文化財・史跡巡り）。
- 大学の誘致（若者のまちづくり）。
- 高齢者が優遇されるまちづくり。
- 地域ビジネスができる地域にする。

(4) まちを創る

- 再生可能エネルギーは市で条例化（エネルギー買取制度等）するなどして推進するとよい。
- 地域発電所の具現化を。

<裏面へ続く>

【その他】

- 資料が市役所の仕事をわかっている人向けにつくられているので、わかりにくい。
- 文字が小さくて読むのがつらい。
- 宿題がある場合は、もう少し早く資料を送ってほしい

基本目標2グループ

- 数よりも質を高めていくような施策を。一人一人が輝けるように。
- 子育て（菊沢 A）の項にあるように、「子供たちが遊べる遊園地」が欲しい。
他市からも集客できるような、目玉になる遊園地があれば、市として1つの大きな魅力になるのではないか。
- 障がい者にやさしいまちづくりを。
- 元気な高齢者が地域活動に参加する
- 子供と地域がふれあえる行事
- コミセンを活用して健康づくり
- 移送サービスの実施
- 空き店舗の活用（若い人に地域が支援）
- 空き家を使って、多世代の居場所づくり

基本目標3グループ

- 鹿沼産材の PR、売り込みにご協力をお願いいたします。
- 資料 4-2、4 ページの 6 の 8 つ目の・において、“条件と資源”とは、具体的に何を言っているか不明。
- 資料 4-2、5 ページの人口の目標設定で、当然ながら減少傾向という推計は妥当と思われるが、市長の選挙の公約において、人口減少に歯止めをかけるとしていたので、目標設定として掲げるのに問題はないか疑問である。
- 文章や計数によるしっかりとした計画書は必要であるが、市民一人一人が将来の鹿沼市をイメージしやすいビジュアル化したものを作成し、周知 PR を図ってはどうか。
- 第 7 次計画のストーリーをマンガ化して、街づくりの重要性を知らせてはどうか。
例えば、P4 まちづくりの方向性、P8 次世代につなげるかぬまなどは、マンガ化できるテーマではないか。
- 小学校のプールが使用できない(さつき小等)、早急な修繕を願いたい。
- 茂呂山のアスレチックを整備してはどうか。
- 足利、小山のような「子どもの遊び場」を整備することが必要ではないか。

<裏面へ続く>

基本目標4, 5グループ

- 地域懇談等で出された課題は、それぞれ説得力があると思われる。どこまで市が介入すべきか。行政だからできる施策、行政しかできない取組に特化したい。スリムな行政、必要以上の補助金を抑えた内容を第一に考えたい。
- 栗野地区、横根高原の活用、獣害対策等は欠かせない。
- 企業誘致、販路拡大、鹿沼ブランドの国内外への発信、定住化促進など様々な分野での金融機関等との連携強化
- 27年の大雨災害により、企業誘致や定住化などに多々影響を受けていると思われ、黒川をはじめ、治水整備計画を強化し、災害に強い都市であることを対外へ発信していく。
- 秋祭りのユネスコ登録を機に、鹿沼の観光資源を見直し、国内外にアピールしていく。
- 地域資源の活用…秋祭り⇒PRを十分に行う
…木工のまち（林業）⇒他市事例を参考にしてみる
- 空き家対策…危険な空き家対策と活用⇒市民の関心が高いので、引き続き取組む
- 飛騨高山の祭りと鹿沼の祭りが似ている⇒成功しているので、中身を研究し、生かしたらどうか
- JRの栃木DCで鹿沼の魅力を伝えられるように準備して、活用してほしい

(5) その他

- 今回の会議はかなり資料のボリュームがあり、次回からもう少し早く資料を送ってほしい
- この様なグループワークを1つの部屋でやってしまうと、各自の発言が聞き取りずらくなってしまうので、別室が良い
- (事務局) 審議会意見の反映、今後の策定スケジュール等を説明

◇次回は9月30日(金)10時30分からを予定

○ 閉 会

配布資料	• 資料①第6次鹿沼市総合計画実績・成果(平成28年6月)
	• 資料②鹿沼市総合戦略 平成27年度 評価指標の達成状況
	• 資料③「地方創生先行型交付金評価指標報告」
	• 資料④-1 策定スケジュール
	• 資料④-2 第7次総合計画概要
	• 資料⑤地域別懇談会・市民団体意見
次回予定	6月24日(金)午後1時30分から